

● 令和2年度 第2回役員会

1 日 時 令和2年12月3日(木) 19:00~20:45

2 場 所 三宮センタープラザ 西館6階 第3会議室

3 出席者 伊藤会長、石原副会長、山下副会長
常任幹事（永井、井上、喜多、能沢、山下、川口、竹本、森田）
KTC（室井副理事長、尾原理事、水口理事）
大学代表（森川専攻長、楯田教学委員）
暁木会顧問（中村顧問、池野顧問）
※ _____：WEBにて会議に参加

4 議事内容

(1) 大学の近況

(大学から)

1) 新型コロナ感染症にかかる大学の活動制限

- ・10月から対面授業を開始している。当初、約4割の出席があったが11月から減少している。学生の感染者は増加していない。卒業式、入学式は人数を制限して実施する予定である。

2) 就職活動の状況

- ・土木系の就職活動については例年通りであるが、他業種については、コロナの影響がでており難しい状況である。

3) 来年度の体制

- ・現時点では、確定していない。

4) 学生への支援(資料-1)

- ・暁木会基金を活用した奨学金制度などを検討しているが、基金について規約がないため今後検討していきたい。まずは大学側でヒアリングを行い、学生の希望者数を把握する。

(2) 会費納入状況および会費会員増強策

(会計幹事から)

- ・会費会員の増強活動により、10月時点で会費納入者が昨年度より46名増加し1,222名となった。今後も会費会員を勧誘し、増員に努める。

(3) 年会費登録事務

(伊藤会長から)

- ・令和2年度第2回常任幹事会にて、長年年会費登録事務を担っている濱村氏

から現在 KTC に委託している会費の登録・管理事務を令和 3 年度から暁木会に戻すことの提案があった。今後、登録・管理事務について体制や仕組みを検討していく予定である。

(水口理事から)

- ・ KTC 側の実務担当者と協議しながら、新たな体制や仕組みを検討すること。また、個人情報扱うことになるので十分に注意すること。

(中村顧問から)

- ・ 会費の登録・管理事務を暁木会で行う提案であるが、暁木会側の事務作業の負担が増えることや、口座番号を含む重要な個人情報を扱うことから、これまで通り KTC に委託する方が良いと考える。

(4) 名簿発行

(会計幹事から)

- ・ 令和 2 年度の名簿改定が完了した。会費会員には、暁木会ニュースを同封し、12 月 1 日に名簿を発送した。

(5) 暁木会ニュース

(広報幹事から)

- ・ 令和 3 年 3 月発行予定の暁木会(案)を示した。大学側に関連する内容については、執筆を依頼した。

(6) 役員改選

(総務幹事から)

- ・ 次年度の新役員候補(案)を示した。

(7) 令和 2 年度総会

(総務幹事から)

- ・ 令和 2 年度暁木会総会の次第(案)を示した。

(大学側から)

- ・ 総会を開催する場合、ソーシャルディスタンスを確保するため、人数制限、会場の選定など検討していただきたい。

(中村顧問から)

- ・ 大学への助成を 40 万円から 170 万円に増額している。コロナによる非常事態であり、大学への支援は必要だが、助成内容は説明できるようにすべき。

(8) その他

1) 神戸大学・暁木会 WEB 業界説明会

(総務幹事から)

- ・ 1 月上旬から中旬に、WEB 形式による神戸大学と暁木会による業界説明会を実施したいと考えており、その案を示した。
- ・ 対象となる学生は、3 年生と M1 であるが、すでにキャリアガイダンスなどで業界の研究をしており、開催(案)であると参加者が少ないと想定される。

(大学側から)

- ・近年の学生の就職活動は、インターンシップを優先しており、インターンシップのエントリーまでに業界説明会を行った方が効果的である。具体的には、学部生は3年生、修士課程はM1の4月にエントリー、8月にインターンシップに参加している。また、3年生約60人のうち、就職するのは約15人であり、残りは大学院に進学する。
- ・大学で学んでいることが将来どのように役立つか、大学院に進学する意味などを説明してもらうのも良いのではないか。

(尾原理事から)

- ・業界説明会の対象を2年生にしてはどうか。

(伊藤会長から)

- ・インターンシップに行く前の2年生の段階で業界説明を実施した方が、今後の進路を選定するにあたり有意義で、参加者も期待できる。その方向で調整を進める

2) KTC から

(室井副理事長から)

- ・コロナ禍により、今年度の学生の海外留学は行っていない。また、工学部100周年記念事業は、令和3年度後半になる見込み。

3) 神戸大学・KTC・暁木会意見交換会

- ・例年1月に開催しているが、今年度は中止とする。